



▲瑞巖寺で行われた「松島芭蕉祭」

令和5年11月12日、松尾芭蕉の遺徳をしのぶ「第69回松島芭蕉祭並びに全国俳句大会」が開催されました。瑞巖寺本堂で執り行われた「芭蕉祭」では、僧侶が読経する厳かな雰囲気の中、芭蕉の法要が営まれました。コロナ禍以前と同様に一般の参加者も訪れ、芭蕉翁に対し実行委員長より献句が披露されました。



▲文化観光交流館で行われた「全国俳句大会」

第69回松島芭蕉祭並びに全国俳句大会が開催されました

- 松島町内関係者の入選作品**
兼題の部(事前投句)
- 小林 貴子 選 新葉に子を座らせて昼餉なり 菊地 ゆき子(桜渡戸)
 - 高山 れおな 選 指尺の産着仕上がる夕かなかな 遠山 典子(根廻)
 - 高野 ムツオ 選 牛のべろ濡れては出づる晩夏光 菊地 ゆき子(桜渡戸)
 - 西山 睦 選 花蕎麦の匂ふ家郷の夕べかな 安達 朝子(高城)
 - 入選 野馬追の紅き母衣背に十五歳 安達 朝子(高城)
 - 入選 蠍座の出づる山の端盆踊 安達 朝子(高城)
 - 坂内 佳禰 選 秋風に晒す大竹小竹かな 遠山 典子(手樽)



▲選者の皆さん(左から坂内佳禰先生、渡辺誠一郎先生、西山睦先生、高山れおな先生、小林貴子先生、成田一子先生、高野ムツオ先生)

昭和30年から続く伝統ある本大会は、今年で69回目を迎え、全国から俳句の愛好家およそ130名が集まりました。応募総数1,9935句の中から、「岳」編集長の小林貴子先生や、「豆」(翻車魚)同人の高山れおな先生をはじめとした7人の選者による厳正な審査により、選ばれた入選句が発表されました。

- 囃目の部(当日投句)**
- 渡辺 誠一郎 選 表札を新たに替えて燕待つ 岩瀬 一洋(高城)
 - 秀逸 忘れ鎌拾つて釣瓶落とす 菊地 ゆき子(桜渡戸)
 - 小林 貴子 選 島々に乗りたい我や寒雀 上田 富男(磯崎)
 - 特選 赫赫と蒲鉾焼く火桃青忌 菊地 ゆき子(桜渡戸)
 - 入選 赫赫と蒲鉾焼く火桃青忌 菊地 ゆき子(桜渡戸)
 - 高山 れおな 選 おじさん達の改造バイク北風の中 上田 由美子(磯崎)
 - 入選 潮錆びの寺の釣鐘翁の忌 遠山 典子(手樽)
 - 高野 ムツオ 選 蘇る海の青芭蕉祭 石川 征一(松島)
 - 特選 蘇る海の青芭蕉祭 石川 征一(松島)
 - 成田 一子 選 狍犬に遠き眼差し落葉降る 佐々木 清司(磯崎)
 - 入選 狍犬に遠き眼差し落葉降る 佐々木 清司(磯崎)
 - 西山 睦 選 翁忌の畳の上の足冷た 今野 勝正(松島)
 - 入選 翁忌の畳の上の足冷た 今野 勝正(松島)
 - 坂内 佳禰 選 赫赫と蒲鉾焼く火桃青忌 菊地 ゆき子(桜渡戸)
 - 特選 赫赫と蒲鉾焼く火桃青忌 菊地 ゆき子(桜渡戸)
 - 入選 山茶花のくれないは供華翁の忌 鈴木 朱鷺女(高城)
 - 入選 潮錆びの寺の釣鐘翁の忌 遠山 典子(手樽)
 - 渡辺 誠一郎 選 秋澄むや戻しの松の方位盤 岩瀬 一洋(高城)
 - 入選 潮錆びの寺の釣鐘翁の忌 遠山 典子(手樽)



▲角田 紗優奈さんの作品

- 令和5年度小学6年生の「税に関する絵はがきコンクール」入賞作品(敬称略)**
- 優秀賞 角田 紗優奈(松五小)
 - 佳作 (松一小) 木村 望 愛・西岡 紅 葵 (松一小) 佐藤 慧 叶
 - 最優秀賞 「ひろめよう ぜいと言つきの たすけあい」 吉森 陽菜乃(松一小)
 - 「未来への バトンをつなごう 税金で」 濱地 広 輝(松一小)
 - 「税金で 笑顔の町をつくらよう」 竹本 詩 乃(松五小)
 - 優秀賞 「税は今を支える 未来を支える 第一歩」 櫻井 紫 音(松二小)
 - 「考えよう 大切な 税の使い道」 八木 あおば(松二小)
 - 「ありがとう 安心な暮らしは みんなの税」 赤間 歌(松五小)
- 令和5年度小学6年生の「税に関する絵はがきコンクール」入賞作品(敬称略)



▲総合防災訓練で水難救助を行う様子



▲令和5年4月に開園した認定こども園松島めぶきの森



▲歩行者天国となった国道45号でイベントを行う様子

新年のごあいさつ 2024

新年あけましておめでとうございます。議会を代表して、年頭にあたりご挨拶を申し上げます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に対しましてご理解とご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。猛威を振るった新型コロナウイルス感染症もだいぶ落ち着き、昨年の5月8日から、感染症法上の位置付けが2類から5類に移行し、日常生活もコロナ禍前の状況に戻つつあります。こうした中、昨年は4年ぶりに議会報告会を開催することができまして、地域の皆さまから貴重なご意見を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。さて、地方議会は、地方分権推進の流れの中にあつて、その役割と責任がますます重要になっております。少子高齢化をはじめとした様々な課題に町では取り組んでおりますが、町議会においてもこのような現状をしっかりと認識し、地域住民の代表として「住民が安心して暮らせるまちづくり」のため、議会としての役割を果たしてまいりたいと思います。本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びにあたり、この一年が皆さまにとって幸せて実り多い年となりますよう心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



松島町議会議長 色川 晴夫



松島町長 櫻井 公一